

## 安心・安全で快適なまちづくり

### 史跡整備について

今後の整備と整備予定地としての公有化を目指す地域を明確にするべき。また、まちづくり計画と合わせて史跡整備計画との関わりを伺う。  
**市)** 追加指定も含めて中枢部地域の未指定の部分を最優先に、伽藍地区区画の範囲を定めながら段階的に指定していく。計画は史跡と共生した生活環境改善のまちづくりという大きな施策があり、その中に史跡と共生する緑豊かな住環境の形成と住まいづくりの緑化率のルール化がある。崖線エリアでは条例による緑化の指導の強化、連続した緑等の構成に指導を図っている。  
**国分寺駅北口広場整備の防犯対策について**

交番の機能的設置と運用。防犯カメラの設置を。  
**市)** 交番からは広場への見通しの良い設計の工夫、駅前では交番の場所がわかりやすい誘導サインの工夫を行う。防犯カメラの設置は考え方を整理して関係各課と協議して進めたい。  
**国分寺駅北口広場整備の防犯対策について**  
 避難場所として指定の可能性と多機能型街路灯、防災倉庫の設置について伺う。  
**市)** 避難場所としての指定は不可。多機能型街路灯は4基予定。倉庫にはトイレを併設する。  
**街頭防犯カメラについて**  
 市内初の設置から7年、防犯カメラの更新が始まる。諸団体の負担を考え今後の対応を求める。

自由民主党市議団  
尾作 義明



**市)** 更新においては新たに補助制度を整え、メンテナンスについては何が出来るか検討する。  
**マイナンバーカードについて**  
 今後の行政サービス、市民の利便性向上、また国の進めるデジタルファースト法案に大きく関わるマイナンバーカードの普及を拡大するべき。現状と今後の拡大へ向けての取り組みを伺う。  
**市)** 普及は全国平均で13%程度、国分寺市は21.4%。普及の拡大には無料写真撮影サービス等を行っている。拡大に向けて、様々なアプローチを検討し、関係各課と協力し拡大に努める。

## 共生社会にむけて/子ども参加 子どもの権利

■共生社会にむけた特別支援教育■**岩永**共に学ぶインクルーシブ教育を目指し、特別支援学級の介助員や普通学級のクラスアシスタントと担任との情報共有・連携の強化や交流・共同学習の充実が重要。柔軟な支援者配置のために基準の見直しや、八王子市「学校サポーター事業」を参考に支援者養成の視点で支援員の研修体制は必須。子どもを中心に教育と福祉が連携し、包括的な支援のしくみづくりを可能限り情報共有する。地域との連携は重要。地域力を生かした多様な支援についても検討していきたい。  
 ■子ども参加と子どもの権利■**岩永**(仮)子ども・子育て支援事業計画に子ども参加と子ども

の意見の反映を答パブリック・コメントの際に子ども向け資料を作り、子どもの意見を聞く等工夫する。子ども参加の施策は検討委員会で検討する。  
**岩永**子どもを取り巻く社会状況が厳しい今だからこそ、子ども自身が安心して育つ権利があることを理解しSOSを出せること、ありのままの自分で良い、失敗しても良いと思えることが重要。改めて子どもの権利について子どもを含めた市民への周知と啓発が必要。  
**岩永**児童福祉法に規定された子どもの権利の啓発についても、法改正をふまえ次期計画での取組を検討する。  
 ■地域センター■**岩永**多世代の交流の場である地域センターの利用率は平均40-50%。世代を問

無党派(国分寺・生活者ネットワーク)  
岩永 康代



わず多くの市民に利用されるよう、HP等の表記を利用促進する内容に見直すべき。  
**岩永**検証・見直しが必要。  
**岩永**施設整備や運営等、ハード・ソフト両面から多世代が利用する視点で検証すべき。  
**岩永**利用者協議会とも連携しながら、あらゆる世代の方が安全安心に利用していただけるよう努める。  
 ■プラスチックごみの発生抑制のために、グリーン購入ガイドライン(調達方針)にワンウェイプラスチック不使用を明記することやイベント用リユース食器の活用を提案。条例や計画策定により、市民・事業者と協働で取組む事を求めた。

## 魅力の発信と市民の安心安全を守る為に

### 1. こくベジについて

**問)** 一年間を通して様々な事業が展開されており、大いにこくベジプロジェクトが盛り上がっていると感じている。更なる推進を目指して努力頂きたい。農業者の中には事業への関わり方が分からない方もいると聞く。考えを伺う。  
**市民生活部長)** 市内外を問わず多くの方にこくベジの魅力を知っていただくには市内農業者全体の協力が欠かせない。JAや関係団体、農家の皆様と連携しながら協力を求めている。

### 2. 交通安全対策について

**問)** 第二小学校東門の交差点は通学時、多くの児童が利用しており自動車は勿論、自転車で通

行する方も大変多い場所である。信号待ちで待機する場所も狭く、横断歩道を渡る際にも自転車と接触する危険も見受けられる。対応を願う。  
**内藤副市長)** 現場の状況は把握している。安全対策を講じる必要があると考える。特に自転車に対する注意喚起等、小金井警察と連携し交通安全に向けた取り組みを図っていく。

### 3. 市の調達における市内事業者育成について

**問)** 公共工事をはじめ市内事業者を選定し調達することは地域経済活性化を図る上で大切な要素と考えるが、市の見解と方針を伺う。  
**総務部長)** 調達に於いては市内事業者の育成及び市内商工業の振興を図る視点を持って契約手

自由民主党市議団  
田中 政義



続を行っている。今後も出来る限り市内事業者より調達する事を念頭に進めていく。  
**4. 消防団活動について**  
**問)** 現在、国分寺市消防団は8名の欠員がある為、86名で活動している。分団員だけでは新入団員確保は困難であり、今後の消防団活動や存続にも関わる問題であると考えが如何か。  
**総務部長)** 団員確保に繋がる広報活動を研究し、本団の皆様とも相談しながら進めていく。  
**その他)** 買い物弱者対策、六小グラウンドについて質問した。

## 身近な生き物探しから生物多様性の保全へ

◆環境(問) 2015年に動植物調査が行われ、生物多様性保全の基礎となる貴重な資料が作成された。2020年に再度、専門員による本格的な調査が予定されているが、環境に関するデータを蓄積するには、その期間をつなぐ市民による調査が必要だ(答) 昨年秋から「身近な生き物探し」として目撃情報を収集し始めた。継続していく(問) 環境の変化と動植物の生態には密接な関係がある。動植物調査をふまえ、生物多様性地域戦略を市民参加で策定することを求める。(答) 広域的な観点をもってどう具体的に進めていけるか考える(問) 「公園・緑地の整備計画」策定の進捗と緑の確保は?(答) 整備計画は、

今後の公園のあり方やより効果的な整備の方針を示していく。来年度からアンケートを実施するなど、優先整備区域についてもご意見を聞きながら固めたい。緑の確保は、農地の改革が行われていくが、生産緑地にどのように対応していくべきかも求められる。非常に重要な時期。  
 ◆福祉(問) 地域包括支援センターの業務量が増えている。支援は?(答) 相談件数の増加に加え、担うべき役割が多岐にわたっている。8050問題など複合的な生活課題による相談も多くなっている。業務の効率化とともに、多分野に関わる課題に対応する体制整備や他部署、他機関との連携など、市として支援を行う。

無党派(国分寺・生活者ネットワーク)  
高瀬 かおる



(問) 地域福祉コーディネーターが配置されたが、地域の相談窓口の位置づけか?(答) 複合的な相談事例の調整やどこに相談してよいか分からない相談を支援機関につなぐ等、アウトリーチによる地域の相談窓口としての役割に期待。(問) 孤立や不安を抱える方に寄り添う支援の重要性が大きくなっている。地域包括支援センターやコーディネーターとは違った、誰もが気軽に立ち寄り居場所にもなるような、常設の地域の相談窓口の検討を要望。また、認知症当事者の声を施策に反映する取り組みを求めた。